



2026年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月15日

上場会社名 オープングループ株式会社 上場取引所 東
コード番号 6572 URL <https://open-group.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 高橋 知道
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 松井 哲史 TEL 03 (6778) 7588
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第1四半期の連結業績（2025年3月1日～2025年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第1四半期	1,960	9.9	215	30.8	189	327.1	137	574.9
2025年2月期第1四半期	1,783	23.1	164	63.9	44	△49.4	20	△94.7

(注) 包括利益 2026年2月期第1四半期 147百万円 (656.1%) 2025年2月期第1四半期 19百万円 (△94.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第1四半期	2.29	2.26
2025年2月期第1四半期	0.33	0.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年2月期第1四半期	20,023	11,360	56.7
2025年2月期	19,967	11,982	60.0

(参考) 自己資本 2026年2月期第1四半期 11,347百万円 2025年2月期 11,978百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	0.00	—	5.50	5.50
2026年2月期	—	—	—	—	—
2026年2月期（予想）	—	0.00	—	4.50	4.50

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2025年2月期末配当金の内訳 普通配当3円00銭 記念配当2円50銭

3. 2026年2月期の連結業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	3,800	9.6	210	△24.8	160	—	96	△61.8	1.59
通期	8,500	17.7	960	46.9	860	266.4	516	18.5	8.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年2月期1Q	62,549,000株	2025年2月期	62,549,000株
② 期末自己株式数	2026年2月期1Q	3,671,375株	2025年2月期	2,166,104株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年2月期1Q	59,939,248株	2025年2月期1Q	60,820,212株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の回復により緩やかな回復基調が見られはじめましたが、地政学リスクの長期化や米国関税政策による世界景気の下振れの影響が懸念されるなど、国内景気や企業収益に与える影響については依然として先行き不透明な状況です。

こうした環境の中で、当社グループは「BizRobo!」、「AUTORO」、「RoboRobo」、「PRESCO(プレスコ)」ともに、既存顧客の継続・拡大、及び新規顧客の獲得に注力しました。また、引き続き「RoboRobo」の製品開発を中心とした先行投資を行いました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,960百万円(前年同四半期比9.9%増)、営業利益は215百万円(前年同四半期比30.8%増)、経常利益は189百万円(前年同四半期比327.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は137百万円(前年同四半期比574.9%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

インテリジェントオートメーション事業

インテリジェントオートメーション事業においては、「BizRobo!」、「AUTORO」、「RoboRobo」ともに導入企業が拡大し、ストック型のライセンス収入が伸長しました。引き続き「RoboRobo」の製品開発を中心とした先行投資は継続しましたが、ライセンス収入の伸長、コストコントロールの強化により利益率は改善しました。

その結果、インテリジェントオートメーション事業では、売上高は1,317百万円(前年同四半期比14.9%増)、セグメント利益(営業利益)は182百万円(前年同四半期比68.2%増)となりました。

アドオートメーション事業

アドオートメーション事業においては、人材カテゴリ、及び新規参入分野の取扱高は伸長しました。一方で、業績のボラティリティを高めていた案件の事業整理を進めたことにより、減収となりました。取扱シェアを高めたプログラムでは手数料率が一部改善したことと、コストコントロールの強化により利益率は改善し、増益となりました。

その結果、アドオートメーション事業では、売上高は366百万円(前年同四半期比16.2%減)、セグメント利益(営業利益)は212百万円(前年同四半期比32.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は15,371百万円となり、前連結会計年度末に比べ206百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が102百万円増加、売掛金が296百万円増加した一方で、預け金が499百万円減少したことによるものであります。固定資産は4,652百万円となり、前連結会計年度末に比べ262百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産のその他が265百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は20,023百万円となり、前連結会計年度末に比べ56百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は6,871百万円となり、前連結会計年度末に比べ893百万円増加いたしました。これは主に買掛金が364百万円増加、契約負債が358百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,791百万円となり、前連結会計年度末に比べ214百万円減少いたしました。これは主に社債が175百万円減少、長期借入金が39百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は8,663百万円となり、前連結会計年度末に比べ678百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は11,360百万円となり、前連結会計年度末に比べ622百万円減少いたしました。これは主に自己株式を429百万円計上したこと、親会社株主に帰属する四半期純利益を137百万円計上したこと及び剰余金の配当332百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は56.7%（前連結会計年度末は60.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年4月14日の決算短信で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,510,244	10,612,959
売掛金	2,488,758	2,785,563
仕掛品	14,770	11,864
預け金	1,786,038	1,286,054
その他	780,071	677,332
貸倒引当金	△2,021	△2,021
流動資産合計	15,577,862	15,371,752
固定資産		
有形固定資産	167,653	165,237
無形固定資産		
のれん	942,346	961,136
ソフトウェア	480,388	472,578
ソフトウェア仮勘定	153,651	145,040
その他	72	72
無形固定資産合計	1,576,459	1,578,828
投資その他の資産		
投資有価証券	1,746,585	1,743,819
その他	898,712	1,164,241
投資その他の資産合計	2,645,298	2,908,060
固定資産合計	4,389,410	4,652,125
資産合計	19,967,272	20,023,878
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,942,371	2,307,084
短期借入金	1,500,000	1,500,000
1年内償還予定の社債	394,000	394,000
1年内返済予定の長期借入金	396,915	335,249
未払法人税等	51,219	65,105
契約負債	1,175,532	1,534,138
賞与引当金	132,341	115,317
信託型ストックオプション関連損失引当金	17,424	—
その他	368,999	621,002
流動負債合計	5,978,803	6,871,898
固定負債		
社債	1,190,000	1,015,000
長期借入金	797,873	758,657
信託型ストックオプション関連損失引当金	17,824	17,824
固定負債合計	2,005,697	1,791,481
負債合計	7,984,500	8,663,379
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,926,160	5,926,160
資本剰余金	6,071,957	6,059,890
利益剰余金	647,351	452,738
自己株式	△678,737	△1,108,460
株主資本合計	11,966,732	11,330,329
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,502	16,676
その他の包括利益累計額合計	11,502	16,676
新株予約権	4,460	4,460
非支配株主持分	76	9,033
純資産合計	11,982,772	11,360,499
負債純資産合計	19,967,272	20,023,878

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
売上高	1,783,669	1,960,829
売上原価	656,078	624,746
売上総利益	1,127,591	1,336,082
販売費及び一般管理費	962,821	1,120,554
営業利益	164,769	215,528
営業外収益		
受取手数料	3,989	—
その他	4,734	407
営業外収益合計	8,723	407
営業外費用		
支払利息	2,486	5,059
支払手数料	11,405	6,611
為替差損	1,131	888
投資事業組合運用損	5,343	728
持分法による投資損失	106,240	11,415
その他	2,532	1,790
営業外費用合計	129,140	26,493
経常利益	44,353	189,442
税金等調整前四半期純利益	44,353	189,442
法人税等	24,823	47,236
四半期純利益	19,529	142,206
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△842	4,713
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,372	137,493

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
四半期純利益	19,529	142,206
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37	5,173
その他の包括利益合計	△37	5,173
四半期包括利益	19,492	147,380
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,334	142,667
非支配株主に係る四半期包括利益	△842	4,713

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

当社の四半期連結財務諸表は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2025年1月14日開催の取締役会決議に基づき、当第1四半期連結累計期間において自己株式1,725,000株の取得を行いました。

また、2025年2月28日開催の取締役会決議に基づき、当第1四半期連結累計期間において自己株式219,780株の処分を行いました。

以上の結果等により、当第1四半期連結累計期間において自己株式が429,723千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が1,108,460千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
減価償却費	85,534千円	74,979千円
のれんの償却額	9,323	28,026

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インテリ ジェント オート メーショ ン事業	アドオート メーショ ン 事業	計			
売上高						
一時点で移転さ れる財又はサー ビス	226,334	437,874	664,209	199,230	—	863,439
一定の期間にわ たり移転される 財又はサービス	920,230	—	920,230	—	—	920,230
顧客との契約か ら生じる収益	1,146,564	437,874	1,584,439	199,230	—	1,783,669
外部顧客への売 上高	1,146,564	437,874	1,584,439	199,230	—	1,783,669
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2,310	5,728	8,038	1,400	△9,438	—
計	1,148,874	443,603	1,592,478	200,630	△9,438	1,783,669
セグメント利益又 は損失(△)	108,365	160,222	268,587	2,283	△106,101	164,769

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セールスアウトソーシング事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△106,101千円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の一般管理費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 顧客との契約から生じる収益以外の収益はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インテリ ジェント オー トメー ション 事業	アドオ ート メー ション 事業	計			
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	273,014	366,799	639,814	276,195	—	916,010
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	1,044,819	—	1,044,819	—	—	1,044,819
顧客との契約から生じる収益	1,317,833	366,799	1,684,633	276,195	—	1,960,829
外部顧客への売上高	1,317,833	366,799	1,684,633	276,195	—	1,960,829
セグメント間の内部売上高又は振替高	21,796	4,714	26,510	900	△27,410	—
計	1,339,630	371,514	1,711,144	277,095	△27,410	1,960,829
セグメント利益又は損失(△)	182,301	212,383	394,684	△10,039	△169,116	215,528

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セールスアウトソーシング事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△169,116千円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の一般管理費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 顧客との契約から生じる収益以外の収益はありません。